



クラシノソコアゲ応援団！ RENGO キャンペーン 全道キャラバン通信

NO.50 2017.5.31 発行責任者 連合北海道組織労働局

STOP! 長時間労働、実効ある働き方改革実現

低温、冷雨、雷のなか街宣、道民に訴える

5月26日に釧根から引き継ぎ、早速午後6時過ぎから斜里町Aコープ前で街宣行動を実施。気温6℃のなか30人を超える組合員らが参集、民進党北海道第12区総支部水上みか代表の連帯演説をいただき町民にも働き方改革を訴えた。なお、すべての街宣行動に水上代表と地元議員の参加をいただいた。

翌27日は北見、置戸、訓子府、津別で街宣行動を展開、冷たい雨が降る中での行動となった。

13時半から北見市端野町公民館で網走管内集会を開催し組合員ら約150人が参集した。小室網走地協会長



民進党12区水上代表（斜里町）



北見市端野町で開催された網走集会

挨拶、浪岡連合北海道副会長の基調提起があり、連帯挨拶で水上代表は介護問題に触れ、依然として他産業に比べて低賃金の実態にある介護労働者の離職と、家族介護のための離職が大きな課題となっていることを指摘し、安心して働くことができる真の働き方改革が必要であり、同時に、政治からの

解決アプローチが必須であると訴えた。

続いて、運輸労連北見地協の中村事務局次長から、キツイ、汚い、危険、給料安の4Kと高齢化が進んでいる職場実態が報告され賃金・労働条件の改善が急務となっていること、また、北教組網走支部の今井書記次長からは、子どもが寝ている間勝負で早朝に起きて仕事をするなど持ち帰り超勤が常態化している。持ち帰ったUSBを紛失したことだけが問題視され、学校現場が抱える問題が社会に正しく認識されていないとして、今後、労働組合の任務として職場段階から実効ある働き方改革を進めていきたいと決意表明があった。

28日は日曜日とあって美幌、大空、小清水、清里、網走、佐呂間の大型スーパーや道の駅前で街宣行動を展開したが、網走では街頭演説の最中に雷が光り急遽避難する一幕も。29日はやっと天候に恵まれ、遠軽では26℃を超える晴天下、滝上では芝桜を背に街宣行動を展開、湧別、紋別、西興部、興部、雄武を経て網走管内のキャラバン行動を終了した。網走管内867キロ、延べ走行距離は5,386キロにのぼった。

【今後の日程】	6月1日	留萌集会	18時00分	留萌市中央公民館
	6月2日	旭川集会	18時30分	一条通り買い物公園
	6月3日	富良野集会	12時30分	コープさっぽろ富良野店前